

見直し運行計画（案）等に関する委員からのご意見について

（1）運賃について

◆基本料金の割引制度

- ・利用施設別の割引制度を導入すべき ※図書館等 例）小学生 ⇒ 無料
大人 ⇒ 100円
- ・75歳以上は、一律100円にするべき
- ・基本料金は一律にして、運賃の枠組みの他で高齢者向けの事業をするべき
- ・未就学児は全て無料にするべき ※保育所等の利用は検討の余地あり
- ・妊産婦は一律100円にするべき ※または、1年間の割引バスを導入
- ・民間路線バス利用者にも等しい高齢者割引を導入すべき
※「高齢者の外出支援」という観点から
- ・高齢者割引の必要性が不明である
- ・循環バスに割引制度を導入するのはバランスに欠けるためよく検討するべき
※既に1回あたり約200円/人を市が負担している
- ・運賃はシンプルにすべき
※様々な割引制度の導入は分かりにくく、利用しづらく、乗務員にとっても不便

◆定期券について

- ・導入するのであれば東西エリア定期を設定してはどうか
- ・学生なら誰でも購入可能な通学定期、若しくは市内の特定学校を対象にした通学定期の導入はどうか
- ・定期の有効期限は1、3、6か月の3種類が必要である
※率は民間に準じて設定
- ・高齢者、75歳未満免許返納者、妊婦用（半額）の定期券の導入はどうか
※高齢者用25%割引定期は必要なし
- ・路線バスの利用はICカードに流れている。紙式の定期券の導入は現実的ではない
- ・他市の導入事例では、利用が少なく有効な手段ではない
- ・利用によっては購入代金の元が取れないことから、定期利用者が減少している
- ・車内では販売できない
- ・導入には、人件費、製作費、販売手数料等相当なコストがかかる。現状での希望が少なければ、あえて導入する必要性が無いと考える

◆回数券について

- ・設定しないことも一案である ※ICカードが使用可なら設定しない方がよい
- ・回数券は定期券と比較した場合には有効ではあると思う
- ・75歳以上の高齢者、75歳未満免許返納者、妊婦用の割引利用券があれば1種類で十分である ※ヘビーユーザーに対するサービスの一環とし、1割程度のプレミアム
- ・販売価格は2,000円位が妥当だと思う ※例）2,000円11枚綴り
- ・導入するのであれば、整理券と区別できるようサイズを大きく作ってほしい
- ・高齢者には回数券は効果的である
- ・導入には、人件費、製作費、販売手数料等相当なコストがかかる。現状での希望が少なければ、あえて設定する必要性が無いと考える
- ・回数券は、循環バスだけに利用が限定される

(2) その他

- 要配慮者割引導入の検討 (定期券購入、回数券購入への補助)
※交通政策以外で実施、路線バス・タクシーにも活用を広げる
- ルートの修正は必要なし ※各委員から修正要請があったときは事務局の判断で調整
- 「市内循環バス見直し運行計画(案)」の表現方法等文言の修正が必要
- 運賃割引をするのか。または、福祉サイドの助成制度を導入するのか等検討していただきたい。